

言葉を越えた音の対話が、そこにある。



古田友哉・高木竜馬 デュオリサイタル

「四手で綴る音の葉」

©Yuji Ueno

Furuta Tomoya × Takagi Ryoma Duo Recital

|プログラム (予定) |

R. ワーグナー(ハンス・フォン・ビューロー編):歌劇「タンホイザーとヴァルトブルクの歌合戦」序曲

F. シューベルト:幻想曲 へ短調 D940 (ほか)

2025. **2.24** (月・祝) 14:00 開場 15:00 開演

パロー文化ホール (多治見市文化会館) 小ホール

全席自由 一般 2,000円 U25 1,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください

スペシャルプログラム

古田友哉 & 高木竜馬

プレトーク

■ 14:20~ ■ 小ホール

※コンサート入場券が必要になります

発売日 12.14 (土) ●インターネット7:00~ ●電話 9:00~

※ 初日はお一人様4枚までのご購入となります

※ 初日の窓口販売は行いません

| プレイガイド |

●パロー文化ホールチケットONLINE tajimi-bunka.or.jp/bunka/

●パロー文化ホール TEL0572-23-2600

●イープラス eplus.jp

お問合せ

パロー文化ホール (多治見市文化会館) TEL0572-23-2600

〒507-0039 多治見市十九田町2-8

●9:00~21:30 火曜休館・祝日を除く ●年末年始休館 (12/29~1/3)

言葉を越えた音の対話が、 そこにある。

バロー文化ホールミュージックアドバイザーシリーズ-III
古田友哉・高木竜馬デュオリサイタル「四手で綴る音の葉」
Furuta Tomoya × Takagi Ryoma Duo Recital

古田友哉 ふるたともや

岐阜県多治見市出身。協奏曲のソリストから器楽・声楽伴奏、執筆活動、クラシック音楽講座の講師、編曲、演奏会のプロデュースなど多面的な活動を続けるピアニスト。

世界最大の音楽祭の一つであるザルツブルク音楽祭をはじめ国内外の数多くのコンサートに出演し、好評を博す。とりわけ室内楽の分野において、ベルリンフィル第1コンサートマスターのノア・ベンディックス＝バルグリー氏をはじめベルリンフィル、ミュンヘンフィル、フィンランド放送響、NHK交響楽団のメンバーなど国内外のアーティストから絶大な信頼を得て、共演を重ねている。

名古屋市立菊里高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部を経て、2015～17年度(財)ヤマハ音楽振興会留学奨学生としてザルツブルク・モーツァルテウム大学修士課程ソリスト科、同大学ポストグラデュエート課程を最優秀の成績で修了する。

ソリストとして梅田俊明指揮、名古屋フィルハーモニー交響楽団、松尾葉子指揮、セントラル愛知交響楽団と共演。NHK-FM「リサイタル・パッショ」やCBCテレビ、CBCラジオ等各種メディアにも数多く出演。

HITOMIホールアーティスト(2021～23)、バロー文化ホールミュージックアドバイザー、NHK文化センター講師。
ウェブサイト:officefuruta.com

高木竜馬 たかぎりょうま

第16回エドヴァルド・グリーグ国際ピアノコンクールにて優勝及び聴衆賞を受賞し一躍世界的に脚光を浴びる。その他にも第26回ローマ国際ピアノコンクールなど7つの国際コンクールで優勝。オスロフィル、ベルゲンフィル、ウクライナ国立フィル、ウィーン室内管、NHK交響楽団、東京フィル、東京交響楽団、日本フィル、新日本フィル、大阪フィル、大阪交響楽団、関西フィル、日本センチュリー交響楽団、京都交響楽団、群馬交響楽団、神奈川フィル、富士山静岡交響楽団、ARKシンフォニエッタ等のオーケストラと、ハンス・グラーフ、エドワード・ガードナー、ゲルゲイ・マダラシュ、アンドレア・バッティストーニ、小林研一郎、秋山和慶、尾高忠明、高関健、佐渡裕、藤岡幸夫、沼尻竜典、下野竜也、鈴木優人、杉本優、三浦文彰等の指揮で共演。ウィーン楽友協会やシェーンブルン宮殿等の世界各地の著名なホールで演奏するなど広範な演奏活動を続けている。NHK総合『ピアノの森』では雨宮修平メインピアニスト役で出演した他、映画『アナログ』やテレビ朝日『題名のない音楽会』、NHK Eテレ『青のオーケストラ』などメディアや音楽祭への出演多数。2024年4月にはイープラスミュージックよりデビューアルバムとなる『Metamorphose』をリリースし好評を博す。京都市立芸術大学専任講師に就任し後進の指導にも当たっている。

バロー文化ホール (多治見市文化会館)

TEL 0572-23-2600

〒507-0039 岐阜県多治見市十九田町2-8

URL <https://www.tajimi-bunka.or.jp/bunka/>

- 【鉄道】 JR中央本線多治見駅(名古屋より快速で40分)北口から徒歩12分
改札を出て左折し、北口エスカレータを下りてください。線路を背にして800m直進します。
精華小学校を過ぎ、国道19号線手前の右方面が「バロー文化ホール」です。
- 【自動車】 中央自動車道「多治見」I.C.より約10分/東海環状自動車道「土岐南多治見」I.C.より約15分
駐車台数に限りがございます(200台収容可能)。
満車の場合は、駅北立体駐車場ほか提携駐車場をご利用ください。
公演当日に限り料金割引サービスを実施します。駐車券をバロー文化ホール事務所へご提示ください。

